

日本学校教育相談学会 会員 各位

## 第29回総会・研究大会（千葉大会）第三次案内

## 大会テーマ 『 チームでひろげ つながる学校教育相談 ～温かい眼差しの輪の中で～ 』

第29回総会・研究大会（千葉大会）が近づいて参りました。

大会における講演、実践事例・研究発表、ポスター発表、自主シンポジウム、ラウンドテーブル、ランチョンセミナーの内容についてお知らせいたします。

全国の皆様に千葉にお集まりいただき、多くの方々とのつながりを深めていく中で、学校教育相談がより広がりを持って発展することを願っています。

日本学校教育相談学会会長 栗原 慎二  
 第29回総会・研究大会名誉実行委員長 大木 みわ  
 第29回総会・研究大会実行委員会委員長 田邊 昭雄

- 1 主催 日本学校教育相談学会
- 2 主管 日本学校教育相談学会千葉県支部
- 3 後援 文部科学省、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県小学校長会、千葉県中学校長会、千葉県高等学校長協会、千葉県特別支援学校長会、千葉県教育研究会、千葉県高等学校教育研究会教育相談部会、日本学校心理士会千葉支部
- 4 期日 平成29年8月4日(金)・5日(土)・6日(日)
- 5 会場 ○神田外語大学（千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1） 043-273-2017  
○ホテルポートプラザちば（千葉県千葉市中央区千葉港8-5） 043-247-7211
- 6 参加資格 本学会会員、教職員、対人援助職、教育学又は心理学等を専攻する大学生・大学院生、教員免許取得を目指す大学生・大学院生
- 7 日程

## ● 8月4日（金） 神田外語大学

9:00	9:30	12:00	13:00	16:00	16:30	18:00
受付	夏季ワークショップ	昼食	夏季ワークショップ	休憩	支部代表者会	

## ● 8月5日（土） ホテルポートプラザちば

9:00	9:20	10:50	11:00	11:40	12:40	13:40	17:00	17:45	20:00
受付	開会行事 総会	文部科学省講演	海外招待講演	昼食 ランチョン セミナー	公開記念シンポジウム 実践事例・研究発表 ポスター発表 自主シンポジウム	移動	会員懇親会		

文部科学省講演『学校教育相談体制の充実』

講師 文部科学省初等中等教育局児童生徒課長 坪田 知広 先生

海外招待講演『台湾の輔導教師の制度と役割』

講師 國立臺灣師範大学教育心理與輔導學系 教授兼系主任 田 秀蘭 先生

公開記念シンポジウム 『大人への移行のための「学び」—移行支援としての教育の可能性』

講師 千葉大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻長 教授 保坂 亨 先生

和歌山県精神保健福祉センター所長 小野 善郎 先生

ランチョンセミナーⅠ『異文化理解 ナバホとの交流』講師：メディア総合研究所 福田訓久 先生

Ⅱ『台湾における輔導教師のお仕事』講師：國立鳳新高級中學 王慧婕 先生

## ● 8月6日（日） ホテルポートプラザちば

9:00	9:30	12:00
受付	教育講演、学会賞受賞者講演 実践事例・研究発表 ラウンドテーブル 自主シンポジウム	

教育講演『私の学校教育相談 School Counseling Services by Teachers in Japan 研究について-今後の展望を踏まえて』

講師 星槎大学大学院教育実践研究科教授（研究科長） 大野 精一 先生

学会賞受賞者講演『教育相談を軸にした包括的な指導・支援 -いじめ・不登校・子ども理解・チーム支援-』

講師 立命館大学大学院教職研究科長／文学部教授 春日井 敏之 先生

## 8 実践事例・研究発表

	研究主題・題目	発表者	所属支部	期日
1	私学における不登校生徒のチーム支援モデルの構想 ー関係機関との連携による学校出席扱いの実践事例を通じてー	一ノ瀬秀司	千葉県	8月5日 (土)
2	チーム学校として取り組む有効かつ円滑な教育相談活動を目指して ースクールカウンセラーによるトリアージを活用してー	枝廣和憲	京都府	
3	小学校管理職に対する訪問型学校支援アドバイザー制度の意義と役割 ー学校支援アドバイザーの訪問が小学校長にどのようにとらえられているかー	根本明夫	兵庫県	
4	通常学級における特別に支援を要する児童に対する効果的な支援方法の方策 ～家庭科の実習学習を通して～	幸脇弥生	岐阜県	
5	教材・自分・なかまとの対話を通して主体的に学ぶ 【ポジティブな行動介入と支援を通じた授業実践】	山下晴久	奈良県	
6	チーム支援の軸となる教員に求められることは何か 私立中高ベテラン教員へのインタビュー調査から	春日一美	京都府	
7	高校生の学校生活適応プロセスに関する研究 ～専門高校に学ぶ生徒たちを通して～	松山長子	神奈川県	
8	家族と課題作成に悩みを抱えるA子への対応 ー養護教諭・教科担当教員との連携ー	川俣邦彦	埼玉県	
9	不登校経験者の高校での適応・変化に関連する学校の支援 ー通信制高校における縦断調査からー	金子恵美子	群馬県	
10	不登校児A君との4年間の関わり ～学級担任として・コーディネーターとして～	鈴木 誠	埼玉県	
11	いじめを苦に自殺を決意した女子中学生との面接過程 ～EMDRと認知行動療法を併用した事例～	赤尾宗一	京都府	
12	トゥレット症候群と自閉症スペクトラムを抱える高校生 学級担任としての関わり	金子志保	神奈川県	
13	生徒が主体的に取り組む面接練習と進路支援 ーアクティブラーニングの手法を用いた生徒相互の面接練習ー	坂本高英	大阪府	8月6日 (日)
14	保護者とともに生徒理解を深める教育相談について	松下眞治	大阪府	
15	高校3年生の進路ガイダンス後の不安と疑問	宮坂吉有樹	奈良県	
16	教育相談に活かすソーシャルワークのスキル	川浦典子	栃木県	
17	コミュニケーション能力を育むための高等学校における試み ～アサーショントレーニングの授業実践を通じて～	大林幸一郎	宮城県	
18	子どもの人間関係を深める指導に関する研究 ー家庭と連携した発達を踏まえた取組の実践ー	武藤栄一	群馬県	
19	学校におけるチーム支援の実際と課題 【児童生徒も職員も自己有用感をもてる学校をめざして】	千葉尊子	神奈川県	

9 ポスター発表

	発表主題・題目	発表者	所属支部	期日
1	高校教員からみた7分面談について(2)	定金浩一	大阪府	8月5日 (土)
2	教員が行う児童生徒の自己有用感を高める取組についての基礎的な検討	吉原 寛 山田史代	新潟県	
3	教育相談の校内支援体制における世代間伝達に関する質的研究(1) ～研究の方法論を巡って～	廣瀬幸市・松原正明 牧野昌子・下山京美 久優一	愛知県	
4	社会性と感情を育てる「キラキラプログラムI」による心理教育(4) 小学校3年生を対象とする実践	齋藤麻依 和久田耕平 米田 薫	大阪府	
5	「キラキラプログラム」による心理教育(5) A県教育委員会主催事業による小・中学校での実践	米田 薫 齋藤麻依 和久田耕平	大阪府	

10 自主シンポジウム

	内 容	期日
1	テーマ：心理教育が果たす役割と可能性(3)ー背景となる理論・哲学, それらに即した実践ー	8月5日 (土)
	企画者・司会者：米田 薫(大阪府) 指定討論者：中村 健(大阪府) 話題提供者：菱田準子(大阪府), 山田洋平(広島県), 廣谷昌昭(大阪府)	
	テーマ：学校ができる気になる子どもへの支援 ー学校体制で取り組む対応ー	
	企画者：古田島真樹(新潟県) 司会者：山田友明(新潟県) 指定討論者：遠藤美紀(新潟県) 話題提供者：古田島真樹(新潟県), 小林勉(新潟県), 佐藤俊介(新潟県)	
	テーマ：災害被災地の先生方を支える	
3	企画者・司会者：砥柄敬三(東京都) 指定討論者：砥柄敬三(東京都) 話題提供者：糟谷恭子(東京都), 中里和裕(新潟県), 松下成子(鳥取県), 宮脇進(鳥取県)	8月5日 (土)
	テーマ：台湾の学校輔導体制から日本の学校教育相談体制が学べること	
4	企画者・司会者：門永由美(千葉県) 指定討論者：藤原和政(千葉県) 話題提供者：田秀蘭(国立臺灣師範大学), 荒井明子(千葉県), 石井幸江(千葉県)	8月5日 (土)
	テーマ：輔導教師の業務 ー実際の教育現場からー	
5	企画者・司会者：小鷲之博(千葉県) 指定討論者：中村裕行(愛媛県) 話題提供者：王慧婕(国立鳳新高級中學), 大鷲麻理(千葉県), 伴火穂(千葉県)	8月6日 (日)
	企画者・司会者：小鷲之博(千葉県) 指定討論者：中村裕行(愛媛県) 話題提供者：王慧婕(国立鳳新高級中學), 大鷲麻理(千葉県), 伴火穂(千葉県)	

11 ラウンドテーブル

テーマ：保護者支援を語り合う ー対応から協力・連携までー	8月6日 (日)
企画者：渡辺正雄(東京都) 話題提供者：松田憲子(千葉県) 司会者：日本学校教育相談学会研修委員	

## 第 18 回夏季ワークショップのご案内

第 29 回総会・研究大会（千葉大会）の前日、8 月 4 日（金）に神田外語大学で、第 18 回夏季ワークショップを開催いたします。是非ご予約をいただけますようご案内申し上げます。

日本学校教育相談学会会長 栗原 慎二  
日本学校教育相談学会研修委員会委員長 渡辺 正雄

- 1 主催 日本学校教育相談学会
- 2 主管 日本学校教育相談学会研修委員会
- 3 後援 文部科学省、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県小学校長会、千葉県中学校長会、千葉県高等学校長協会、千葉県特別支援学校長会、千葉県教育研究会、千葉県高等学校教育研究会教育相談部会、日本学校心理士会千葉支部
- 4 期日 8 月 4 日（金）  
受付 9:00～9:30 コース別研修会 9:30～16:00
- 5 会場 神田外語大学（千葉県千葉市美浜区若葉 1-4-1）  
JR 京葉線「海浜幕張」駅より徒歩約 15 分、バス約 5 分  
JR 総武線「幕張本郷」駅よりバス約 8 分
- 6 内容・講師  
A コース「いじめ・対人トラブルの修復的対話の理論と実践」  
講師：山下 英三郎 先生（NPO 法人修復的対話フォーラム代表）  
B コース「学校における学びのユニバーサルデザイン」  
講師：佐藤 慎二 先生（植草学園短期大学）  
C コース「不登校セラピーの実践に学ぶ」  
講師：新井 てるかず 先生（不登校セラピー代表）  
D コース「アクティブラーニングの効果的授業デザイン」  
講師：高垣 マユミ 先生（津田塾大学）  
E コース「思春期臨床の悪循環を希望に変えるレッスン」  
～児童生徒のリソースと未来像を活かすカウンセリング～  
講師：黒沢 幸子 先生（目白大学）  
F コース「不安への対処力を養う認知行動療法の授業実践」  
講師：清水 栄司 先生（千葉大学）  
浦尾 悠子 先生（千葉大学）  
G コース「統計処理を含めた論文の書き方」  
講師：岸 学 先生（東京学芸大学）

### 7 ワークショップ参加費

	事前参加申込	当日参加
会員	6,000 円	6,500 円
日本スクールカウンセリング推進協議会加盟会員	6,000 円	6,500 円
学校カウンセラー	3,000 円	3,500 円
非会員	7,000 円	7,500 円
学生会員	3,000 円	3,500 円
学生非会員	3,500 円	4,000 円

※学校カウンセラーは 3,000 円が認定委員会より補助されるため、上記の金額となります。

※一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会加盟学会は、日本学校教育相談学会、日本学校心理士会、日本キャリア教育学会、NPO 日本教育カウンセラー協会、日本教育カウンセリング学会、日本カウンセリング学会、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構日本臨床発達心理士会で構成されています。

- 8 定員 各コース 40 名程度（申込状況によって多少の調整があります）
- 9 申込期間 平成 29 年 4 月 6 日（木）～7 月 19 日（水）必着 ※宿泊申し込みがある場合は 7 月 10 日（月）必着
- 10 申込みにあたってのご注意
  - (1) 申込後のコース変更はできません。
  - (2) 申込後に参加取消しの場合、代理人の参加は認めますが参加費の返金はできません。
  - (3) 受付は先着順ですので、申込が定員に達した場合は第 2 希望にまわっていただきます。
  - (4) 全日程を受講された方には研修修了証を発行します。
  - (5) ガイダンスカウンセラー強化研修、学校カウンセラー・学校心理士の更新ポイントに該当します。
- 11 夏季ワークショップに関するお問い合わせ先  
研修委員会委員長 渡辺 正雄（携帯電話 090-2541-8338）

## 第 18 回夏季ワークショップ・講師の先生方による講座案内

### A コース 「いじめ・対人トラブルの修復的対話の理論と実践」

講師： 山下 英三郎 先生 (NPO 法人修復的対話フォーラム代表)

多様な個性と背景を有する子どもたちと、教職員、そして保護者など、実に多くの人々の交流がある学校。そこでは、コミュニケーションの齟齬や対立などが生じる可能性が常にある。関係の不調は教育の質の低下につながることから、トラブルを予防し解決する効果的な方法が求められる。修復的対話は、トラブルを平和的に解決したり予防したりする考え方であり方法であるが、世界各地の先住民の間で行われていたトラブル解決法にルーツを有する。その基本は、お互いの尊重であり、人間関係の構築を目的とする。ファシリテーターが対話の進行役を担うのが特徴である。本講座では、修復的対話の基本的な考え方や具体的な方法などについて講義を行った上で、トラブル予防法としての RJ サークルを参加者が実際に体験してもらうことにより、修復的対話を理解してもらうこととする。

### B コース 「学校における学びのユニバーサルデザイン」

講師： 佐藤 慎二 先生 (植草学園短期大学)

通常学級ユニバーサルデザインは「○発達障害等の配慮を要する子どもには『ないと困る支援』であり、なおかつ、○どの子どもにも『あると便利で・役に立つ支援』を増やし、○その結果として、どの子どもも過ごしやすさと学びやすさが向上する」学級・授業づくりを目指します。通常学級担任による・通常学級担任のための『特別』ではない支援教育モデルです。本講座では、発達障害等による困難さやしんどい想いの疑似体験を交え、『ないと困る』『あると便利で・役に立つ』支援を確認しながら、学級経営や授業づくりのポイントを実践的に検討します。また、『気になる』子どもの保護者とどう連携するのか？という切実な課題も具体的に考えたいと思います。研修の合間には、学級・授業づくりで使える(子どもの集中力を高め、学級の雰囲気をもたせめる)『ミニネタ』を入れ、眠気を飛ばしながら、楽しく・充実した一日にしたいと思います。よろしくお願ひします。

### C コース 「不登校セラピーの実践に学ぶ」

講師： 新井 てるかず 先生 (不登校セラピー代表)

不登校は「見捨てられ不安」が引き起こす。家庭で“親子の愛着関係”に問題が生じると、子供に見捨てられ不安が生じる。そして幼小中高と集団組織化されていく学校で、子供は次のような不安を感じる。「集団の中で、自分だけがおかしい、変だ、浮いている、ついていけない。だからこんな自分はみんなから“あいつジャマ、迷惑、嫌い、関わりたくない、話したくない、関心ない、いらぬ、必要ない”と思われるんじゃないか」。これに耐えられず、登校できなくなるのが不登校の根本原理で、いじめはこの不安を助長する。本WSでは不登校と見捨てられ不安、および完璧主義や自己肯定感など周辺問題の解明ならびに根本解決方法を解説し、抜本的な発生防止策を考えることをテーマとする。

### D コース 「アクティブラーニングの効果的授業デザイン」

講師： 高垣 マユミ 先生 (津田塾大学)

学習指導要領改訂に向けての答申で「主体的・対話的で深い学び」を促すアクティブラーニングの視点が提起され、教育関係者の間での関心は、近年ますます高まっています。こうした動向を受け、本ワークショップでは、次の2つの内容に取り組みます。①グローバルな視点から見たアクティブラーニングの目的とは何か。アクティブラーニングを通して子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を促す要素とは何か。②アクティブラーニングを効果的に生かす授業デザインとは、どのような理論や方略に支えられているのか。形式としては、午前中にアクティブラーニングの理論的な解説、実践事例等を紹介し、午後には、グループワークを通じて、アクティブラーニングに関する様々な授業デザインの方略を実際に試していただきます。参加者の皆様に、二学期から早速導入していただけるような方略を、たくさん提供することができればと考えております。

## E コース「思春期臨床の悪循環を希望に変えるレッスン」

～児童生徒のリソースと未来像を活かすカウンセリング～

講師：黒沢 幸子 先生（目白大学）

困難を抱えやすい思春期の子ども達への対応では、教師も親も子ども自身も、悪者探し・原因探しの悪循環に陥りがちです。子どもと大人、コミュニティを活かすリソースと未来像を重視するカウンセリング、つまり解決志向ブリーフセラピー（SFBT：Solution-Focused Brief Therapy）は、解決への良循環をもたらします。SFBTは、「問題志向」から「解決志向」へ発想をシフトさせます。SFBTは、問題や原因に注目するのではなく、クライアントは十分なリソースと強さをもっており、自身の人生の専門家であると考え、その望む未来の状態をクライアントと協働して作り出していく、肯定、尊敬、安全性を特徴とする効果的・効率的なアプローチです。幅広い領域で効果をあげ、思春期対応や学校臨床にも有用なこの手法を、事例やワークとともに楽しく学んでいきましょう。皆様にお会いできますことを楽しみにしています。

## F コース「不安への対処力を養う認知行動療法の授業実践」

講師：清水 栄司 先生（千葉大学）・浦尾 悠子 先生（千葉大学）

子どもたちは様々な不安の問題を抱えており、それが学校生活での不応（問題行動・不登校等）や学業成績の不振につながる場合も多くあります。その解決法として、不安の感情をコントロールする目的で、考え方（認知）や行動のパターンを見直す認知行動療法が、医療機関で実施されています。また近年、学校現場において、学級集団を対象に認知行動療法に基づく指導を行うことで、子どもたちの不安の点数を低減することが実証できています。本ワークショップでは、小学校5～6年生から中学生の児童生徒向けに、学校で行う認知行動療法の授業を実践できるようになるためのワークショップです。小中学校の教諭、養護教諭の先生方をはじめ、スクールカウンセラーや、その他学校現場で子どものこころの教育に携わっていらっしゃる先生方で、学級活動、総合的な学習の時間などに授業実践をご検討いただける先生であれば、どなたでもご参加いただけます。

## G コース「統計処理を含めた論文の書き方」

講師：岸 学 先生（東京学芸大学）

この研修で要請を受けたテーマは「統計処理を含めた論文の書き方」です。統計処理には、データの収集・集計・分析の3ステップがあり、この研修では集計と分析のステップを中心に解説します。集計のステップで重要なのは、データの見方と分析の方向づけをすることです。そして、分析のステップには、記述統計、推測統計、多変量解析の3つの内容があります。いずれの取り扱いも、量的データを用いた研究では不可欠のスキルであり、研修では、それらの考え方やエッセンスについて簡潔に紹介します。さらに、統計処理の結果を論文に著すには基本的なルールがあります。また、論文に著された統計処理の結果からどのように情報を引き出すのかについてもルールがあります。研修ではこれらについても解説を加えます。

# 日本学校教育相談学会 第29回総会・研究大会(千葉大会)・夏季ワークショップ 申込のご案内

※ お申し込みはFAXまたは郵送にてお願いいたします。

## 1 申し込み期間と方法

- (1) 申込期間：平成29年4月6日(木)～7月19日(水)必着  
※ 宿泊申し込みがある場合は、申し込みを7月10日(月)必着にて済ませてください。
- (2) お申込み・お支払い方法
  - ① 別紙の参加申込書にご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。  
送付先は、申込書に記載してあります。
  - ② お申込みいただいた方に、JTBより予約確認書を送付いたします。
  - ③ 予約確認書を受け取ったら、平成29年7月28日(金)までに入金をしてください。  
入金がない場合と7月29日(土)以降に入金された場合は当日扱いとなります。  
「当日参加の参加費」または差額を当日ツアーデスクにてお支払いください。
  - ④ 支払いは銀行振り込みのみとなります。恐れ入りますが、振込手数料は各自お支払いください。
  - ⑤ 申込み手続き1回につき750円の取扱手数料が必要となります。

### 【振込先】

名義人	銀行名	店名	口座番号
株式会社JTBコーポレートセールス	みずほ銀行	十二号支店	普通 1290577

※ 銀行等の発行する払込票兼受領書(ご利用明細書)が領収書となります。

次の場合はお手数ですがご連絡ください

- ① 申込書を6月末までに送付した方で、申し込み3週間以内に予約確認書が届かない場合
  - ② 申込書を7月～19日までに送付した方で、7/25に予約確認書が届かない場合
- (株)JTBコーポレートセールス 法人営業船橋支店日本学校教育相談学会受付デスク 担当：鈴木良幸  
TEL：047-495-8182 FAX 047-495-8187 E-mail：gakusou@bwt.itb.jp

## 2 参加費のご案内

### (1) 研究大会参加費

参加区分	研究大会参加費	
	事前参加申込	当日参加
会員	7,000円	8,000円
非会員	8,000円	9,000円
学生会員	2,000円	3,000円
学生非会員	3,000円	4,000円

### (2) ワークショップ参加費

参加区分	ワークショップ参加費	
	事前参加申込	当日参加
会員	6,000円	6,500円
日本スクールカウンセリング推進協議会加盟会員	6,000円	6,500円
学校カウンセラー	3,000円	3,500円
非会員	7,000円	7,500円
学生会員	3,000円	3,500円
学生非会員	3,500円	4,000円

### (3) 会員懇親会

平成29年8月5日(土) 17:45～20:00 ホテルポートプラザちば 料金：6,000円

(4) 弁当（お茶付き）

平成 29 年 8 月 4 日（金）・5 日（土）

料金：1 食 1,000 円（税込）

3 申し込み後の変更・取消について

(1) お申込みの変更・取消は、原則として平成 29 年 7 月 28 日（金）までとなります。

メールまたは F A X でご連絡ください。

(株) J T B コーポレートセールス 法人営業船橋支店 日本学校教育相談学会受付デスク 担当：鈴木良幸  
FAX 047-495-8187 E-mail: gakusou@bwt.jtb.jp

※ ワークショップは、お申込後のコース変更・取消はできません。

お申込後に参加取消の場合、参加費の返金はできませんが代理人の参加は認めます。

(2) 参加取消の場合

- ① 大会参加費等は、7 月 29 日（土）以降の取消については返金致しません。7 月 28 日（金）までの取消の場合には、大会参加費等は返金致しますが、取扱料（750 円）、振込手数料についてはご負担いただきます。その際、返金方法をお問い合わせさせていただきます。
- ② 宿泊についての取消は、下記の割合で取消料が発生します。

取消日	取消料
宿泊開始の 8 日前まで	無料
宿泊開始の 7 日前から 4 日前まで	(旅行代金の) 10%
宿泊開始の 3 日前から前々日まで	(旅行代金の) 20%
宿泊開始の前日	(旅行代金の) 40%
宿泊当日	(旅行代金の) 50%
無連絡の取消及び不泊	(旅行代金の) 100%

※ 取消後、上記取消料を差し引いた金額を返金致しますが、取扱手数料は返金致しません。

③ 変更によって差額が生じた場合、当日ツアーデスクにて調整させていただきます。

4 ホテルのご案内

ご宿泊を希望の方は 7 月 10 日（月）必着で、申込書を送付してください。

「参加申込書」に第 1 希望、第 2 希望のホテル番号をご記入ください。

受付が先着順ですので恐縮ですが定員になった場合、第 2 希望等にまわっていただきます。希望の施設が予約出来なかった場合でもキャンセル待ちは行いませんのでご了承願います。

ホテル番号	ホテル名	部屋タイプ	8/3(木)	8/4(金)	8/5(土)	交通アクセス
1	アバホテル&リゾート	シングル	16,200 円	16,200 円	21,600 円	JR 京葉線「海浜幕張」駅 徒歩 5 分
2	ホテルサンルート千葉	シングル	14,040 円	14,040 円	16,200 円	JR「千葉」駅 徒歩 1 分
3	パーティーホテル千葉	シングル	11,880 円	11,880 円	12,960 円	JR「千葉」駅 徒歩 1 分
4	ホテルニューツカモト	シングル	9,720 円	9,720 円	10,800 円	JR 京葉線「千葉みなと」駅 徒歩 2 分
5	ソガイインターナショナル	シングル	11,880 円	11,880 円	12,960 円	JR「蘇我」駅 徒歩 1 分
6	八幡宿第一ホテル	シングル	設定無	9,720 円	10,800 円	JR「八幡宿」駅 徒歩 1 分
7	市原マリンホテル	シングル	設定無	9,720 円	10,800 円	JR「五井」駅 徒歩 5 分

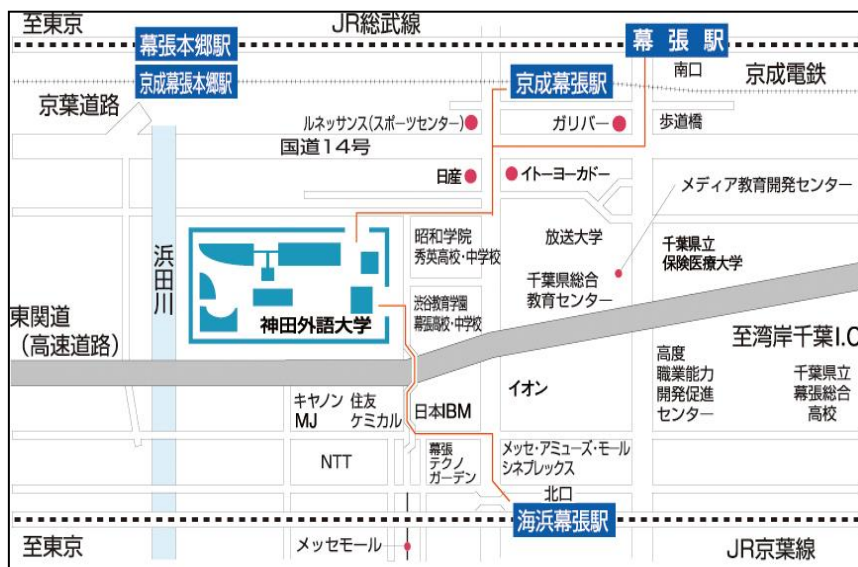
※ 上記金額はいずれも、1 泊朝食付き 税・サービス料込のお一人様料金です。



【 会場アクセスマップ 】

神田外語大学

※ 参加者用の駐車場はありません



- JR 京葉線「海浜幕張」駅より  
徒歩約 15 分、バス約 5 分
- JR 総武線「幕張本郷」駅より  
バス約 8 分

ホテルポートプラザちば



- JR 京葉線「千葉みなと」駅前
- 千葉都市モノレール「千葉みなと」駅前

大会に関するお問合せ

第29回総会・研究大会(千葉大会)実行委員会事務局長 浅見 光子  
 ※ メールアドレス gakusou@sakura-chiba.com  
 ※ FAX専用番号 043-247-9747  
 ※ お問合せはメールかFAXでお願いします。

申込確認・登録・宿泊に関するお問合せ

(株)JTBコーポレートセールス 法人営業船橋支店  
 日本学校教育相談学会受付デスク 担当:鈴木良幸・小倉健太  
 〒273-0011 千葉県船橋市湊町 2-1-1 ニッセイ船橋ビル 4 階  
 TEL 047-495-8182 FAX 047-495-8187 E-mail : gakusou@bwt.jtb.jp  
 (営業日 平日 9:30~17:30 土日祝休)